

## 未来物質を未来材料へ：分子をくっつけて何すんねん！？

化学は物質とその反応に関する科学です。我々はその結果生み出される材料で明るい未来を作り上げたいと願っています。本ワークショップでは「分子」をキーワードに、それを反応・集積させることで材料を創ることを目指す未来材料領域内外の研究者にお集まりいただき、それぞれの立場から「材料」についてお話しいただきます。研究者それぞれがもつ「物質観」や「材料観」について自由に語っていただき、未来材料について大いに議論しましょう！

日時：2024年3月8日（金）12:30-17:50

場所：[京都大学理学研究科セミナーハウス（京都大学北部キャンパス内）](#)

形式：現地+オンライン（Zoom）

キーワード：水素結合・静電相互作用・配位結合・共有結合・超分子・錯体・  
ポリマー・ゲル・ガラス

参加登録（必須）は[こちらから](#)



開催場所地図



参加登録フォーム

- |             |   |
|-------------|---|
| 12:30-12:40 | 趣旨説明（金森・伊藤）   |
| 12:40-13:40 | 石田 康博（理化学研究所 創発物性科学研究センター）<br>「廻り道ニススメ：ソフトマテリアルの精密有機合成」                                 |
| 13:50-14:50 | 吉尾 正史（物質材料研究機構, さきがけ「未来材料」領域3期生）<br>「イオンを伝導する液晶高分子の新設計概念とアクチュエータ応用」                     |
| 15:00-16:00 | 南 豪（東京大学 生産技術研究所）<br>「超分子材料は化学センサとして本当に使えるのか？」  |
| 16:10-17:10 | 梶原 浩一（東京都立大学 大学院都市環境科学研究科）<br>「シリカー-REPO <sub>4</sub> 透明結晶化ガラスの液相合成と無濃度消光発光」            |
| 17:20-18:20 | 中西 和樹（名古屋大学 未来材料・システム研究所、京都大学 iCeMS）<br>「大学の技術はいかにして社会実装に至るかー共同研究と起業の壁ー」<br>（聞き手：金森・伊藤） |

世話人：金森 主祥（京大院理, さきがけ「未来材料」領域2期生）・伊藤 喜光（東大院工, さきがけ「未来材料」領域1期生）

### ご案内

- 本ワークショップは、講師の先生方にご講演いただき、特に「物質」と「材料」についての議論を行います。積極的な議論へのご参加をお願いします。
- さきがけ未来材料関係者ではない方の参加も歓迎いたします。
- 会場の収容人数上限は86人です。上限を超えるとZoomでのご参加をお願いすることになります。
- Zoomでご参加の場合は、音響設備の都合上、ご発言はチャット機能を利用させていただきます。
- 会場には十分な数の電源が用意できません。あらかじめご了承ください。
- 会場でのインターネット接続については、各自でご準備ください。なお、eduroamは使用可能です。